

平成 30 年度 第 2 回生涯学習部研修会 活動報告

今年度新入職員及び新人教育プログラム未修了者を対象に、研修会を開催いたしました。
以下にご報告致します。

日 時：平成 30 年 9 月 1 日（土） 9:30～（受付 9:00）

会 場：山形医療技術専門学校

参加者：51 名

内 容：選択テーマ 5 テーマ

9:40～10:40 「E-1 臨床実習指導方法論」

山形医療技術専門学校 杉原 敏道 先生

10:50～11:50 「D-2 生涯学習と理学療法の専門領域」

鶴岡協立リハビリテーション病院 齋藤 高興 先生

12:50～13:50 「C-4 高齢者の理学療法」

介護老人保健施設美の里 井上 由香 先生

14:00～15:00 「C-1 神経系疾患の理学療法」

公立置賜総合病院 阿部 宣行 先生

15:10～16:10 「D-3 理学療法の研究方法論（EBPT 含む）」

山形医療技術専門学校 長沼 誠 先生

スタッフ：齋藤 高興（鶴岡協立リハビリテーション病院）

中川 悠介（天童市民病院）

辺見 千佳（山形大学医学部附属病院）

高橋 みゆき（公立置賜長井病院）

舟山 悦子（山形済生病院）

皆川 進（高見台クリニック）

先輩からの言葉

第2回研修会に参加された皆様、講義をして下さった先生方、準備をしてくださった生涯学習部の皆様、大変お疲れ様でした。1日にわたる研修会でしたが、受講された皆様は集中して講義を受けられていました。また、理学療法士1年目の皆様においては、第1回の研修会でお会いした時以上に、いきいきとされている印象を持ちました。第2回研修会の5つのテーマは多岐にわたるものでしたが、理学療法士として働く上で、どこかで必ず関わる機会のあるテーマだったように思います。

私は臨床6年目となりますが、研究論文を読む場合や臨床実習指導方法等、6年前に受講した資料を見返し、参考にさせて頂きました。今回の研修テーマは今後につながる内容ばかりだったように思います。

次回第3回生涯学習部研修会は、10月28日に山形県立保健医療大学にて5テーマの講義があります。たくさんの方のご参加をお待ちいたしております。

山形済生病院 舟山 悦子

新入会員の感想

この度の2回目の新人教育プログラムは1回目につき、今後の理学療法士として欠かす事が出来ない貴重な内容でした。

今回のプログラム内容は「臨床実習指導法論」「生涯学習と理学療法の専門領域」「高齢者の理学療法」「神経系疾患の理学療法」「理学療法の研究方論」という理学療法のみならず医療界で今後キーワードとなる部分が沢山盛り込まれてありました。特に「生涯学習」についての御講義は理学療法士として患者様へ最善の医療を提供するために専門性を追求し続けることの必要性を学びました。また、「高齢者」「神経系疾患」の御講義は当院でも関連深い内容でした。対象者と関わる中で疾病の理解・心情に関する先生方の経験談踏まえた基礎知識を教わることができ理学療法の幅がさらに広がりました。

この度の「学び」は理学療法士としての土台となる部分を構築することが出来ました。そして、この土台がさらに上へと積みあがるよう今後理学療法士としてレベルアップしていきたいと強く思うようになりました。

今後の山形県の理学療法士の発展のため新人同士でも切磋琢磨し全体の底上げできるよう邁進して参ります。

山形ロイヤル病院 卯野 雄大

今年度から理学療法士として勤務させていただいており、2回目の生涯学習部研修会に参加させていただきました。今回の研修会では高齢者に対する理学療法や神経系疾患についての知識についてのほか、認定理学療法士や専門理学療法士になるための過程や専門領域について多く学ぶことができました。自分の勤務する病院は神経系疾患が多い回復期病院であり、特に脳画像の見方やニューロリハビリテーションについての講義が勉強になりました。臨床現場では脳画像を上手く活用し、予後や症状の予測をしながらリハビリを進めていく必要があると感じました。

また、臨床実習指導方法論についても学ぶことができました。将来、自分も学生に教える立場になったとき学生と指導者とのコミュニケーションを大切に、学生の特徴に合わせた指導をしていこうと感じました。自分の技術向上と指導者になったときに学生に教えられるようになるため、知識を深めていかなければならないと感じました。

三友堂リハビリテーションセンター 池田 梓

講義の様子



受講された皆様、大変お疲れ様でした。

文責：高見台クリニック 皆川 進